

UZU ポスト

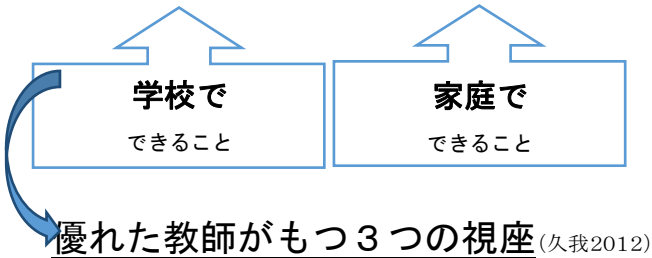
いよいよ新学期がスタートしました。これからこの「UZU ポスト」を通して、「探究的な授業づくり」の研究指定に関わる様々な情報を発信していきたいと考えています。(昨年度末発行の第1号は裏面参照。)

新年度最初の第2号は、鳴門教育大学教職大学院の「学級経営の理論と実践」(久我直人先生)の中から、二つのポイントを整理して紹介します。あなたが得意な、また苦手な視座は…?振り返ってみてください。

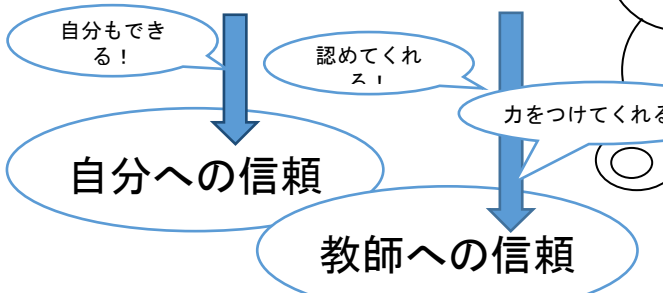
1. 子どもたち **I**を伸ばす **We**を広げる
「**頑張り**」(学力)と「**優しさ**」(社会性)を
発揮させる条件は…?

自分に対する信頼

「自分にはよいところがある」「私は一人の大切な人間である」
「まわりの人から認められている」



- 第1の視座 分かりやすく 教える (学習スキル・生活ルール)
- 第2の視座 主体的に 考えさせる (自ら学ぶ場・活動の場の設定)
- 第3の視座 ほめて 価値づける (勇気づけ・ポジティブフォーカス)



No.2 ~学級経営編~

2. 1年を決める4月は

フロントローディングの考え方で!

〈第1の視座だけに留まる教師の特徴〉

枝葉の対応

- ⇒ 学級で発生する様々な問題へ個別に対応
- ⇒ その繰り返しによる疲弊

〈第1に加えて第2・第3の視座をもつ教師の特徴〉

根幹での対応

- ⇒ 一つ一つの問題の丁寧な取り上げ
- ⇒ 判断する価値や考え方を子どもに問い返す
- ⇒ 考える子を育てる

手間がかかるし
大変だけれど…

フロントローディング

大きな車輪は、始めに動き出すまでに大きな力が必要。しかし、一度動きだせば、ほとんど力をかけなくても自力で動くようになる。



〈不信を招く教師のDon't〉

- ▼問題の過小評価 見過ごし 指導回避
- ▼差別的対応 人格否定の発言
- ▼子どもの内面や理由、背景を見ようとしない 頭ごなしの指導
- ▼教師の都合を優先した指導
- ▼安全や健康への注意欠如
- ▼信用失墜行為

…大丈夫?

参考資料:『優れた教師の省察力』(2014年版)

久我直人著 ふくろう出版

山崎(美)が持っています。声をかけてください!